

**京都市の子育て世帯における  
保育料・保育内容に関する意識調査  
【自由記述】**

**京都市保育園保護者連合協議会（市保連）**

# 保育料（今後の値上げの方針含む）や実費の在り方についての意見

## 少子化要因

・子供を産んではいけない、あるいは、子育ては高所得世帯の贅沢なのかなと思う。保育料値上げして「子育て支援」とか、ありえない。何人産んでも、と言うより授かっても、安心して家族全員が暮らせるようになってこそ、真の子育て支援なのではないかと思う。

実費負担も、原則なしにして欲しい。本当に必要なものなら、それこそ自治体が各々判断して負担すべき。必要と認められないものなら、保育園(施設)に対して「保護者に負担させてはいけない」と通達すべき。

・働く量を増やせば所得が上がるが、預ける時間も増え、所得に対する保育料も上がり悪循環。2人目、3人目…と子どもを設けるにも、進めていきにくい。金銭的な問題だけではないが、核家族で育てる環境としては負担が大きい。少子化の問題もさらに悪化につながるのではないか。

・3歳児ですが年度内は保育料がかかります。率直に言って高いです。値段が高い上に保育園に入れるハードルは高い。おまけに病児保育に預ければさらに費用がかかる…。この上値上げとは、子育て世代を応援する気はないのだと感じています。仕事の都合で子どもが6ヶ月の頃復帰しましたが、夜の睡眠も確保できない時期で精神的にも体力的にも本当に辛く、その上手取り（配偶者の手取りは含まずの話です）の1/4以上が保育料に消えるという事実、打ちのめされそうでした。あの時の絶望感は2人目を諦めた大きな理由の1つです。

・高所得者からは沢山とればよいと考えられているかもしれない。確かに、払うことは可能だが、3人目をあきらめる大きな要因となったことは申し上げたい。

・今後、保育料が上がれば子育てに不安を感じてさらに子どもが少なくなると思う

・3人目が欲しいが迷っている

・今のままでないと次の子どもを望めない

・少子化と言いながら保育料をあげると、どんどんさらに少子化が進み、高齢者社会になってしまい、これから世の中を背負っていく若者に相当な負担がかかる。

・預けてるので保育料や実費は仕方ないのかなと思いますが、保育料が値上がりすると子どもをつくるのを考えてしまいます。働かないと生活できないのに働けば働くほど徴収されて子どもとの時間もなくなってしまっていてマイナスばかりです。

## 働く意味

・働くために保育園を利用しているが、その保育料が高くなってしまいうのであれば働く目的がわからなくなります。子どもが乳児のころは私の収入の4割ほどを保育料として支払っていました。なんのために働いているのかと悩みました。仕事をして社会に貢献しているはずなのに、生活が楽にならないのは本当におかしいです。安心して働ける体制を、保育料にしてほしいです。

・時保育や認可外保育の保育料が高いので、現在の状態は助かっています。保育料が上がると仕事ができなくなる世帯は多いと思います。

・保育していただいているからこそ働けるので、仕方ないところもありますが、保育料のために働

くのでは、やはり、働く意味はなくなるかと思います。

・働いても働いても、多い時で自分の給料の 1/3 の保育料が引かれる。生活保護や、非課税の人、母子家庭が優遇され、なぜ真面目に働いている私たちから搾取しようとするのか理解できない。京都市は本当に子育てしにくく、全く私たちの事を考えていない。

・現状においても、“働くために預けているのか”、“保育料を支払うために働いているのか” 分からないような状況であるのに、値上げなど有り得ない。保育料や医療費は誰もが平等に社会生活を送る上で「安心な」価格であるべきだと思う。

・生活のために仕事をしているがその大半を必須である保育料にとられてしまっただけでは、生活の困窮は変わらず、何のために働いているのか分からない状態となる。心のゆとりが無くなり、子供に当たったりしがちで、そんな自分に嫌悪を抱き、負のループに落ち入る。

### **負担増**

・共働きの家庭にとって、日中安心して子どもを預けられる保育園は必要不可欠な存在である。保育園を利用するにあたり相応の料金が発生するのは当然であるが、共働きであってもその費用の家計への負担は大きい。ひとり親世帯や様々な事情を抱えた家庭にとっては、更に負担が大きいと何度か聞いた事がある。子ども一人ひとりが保育園に通う期間は確かに短いかもしれないが、子育てをする長い期間で考えてもその経済的負担は相当大きい。市の財政状況が相当厳しい事を鑑みて保育料無償化を廃止したとしても、以前の保育料よりも増額する事だけは避けて欲しい。(そもそも財政状況が悪いのに何故、今、無償化を実施したのか。無償化の恩恵に預かった世代ではあるが、無償化の間の赤字をこれから利用する家庭に負担させるようで納得できない。)併せて、保育料の増減に関係なく、保育の質の悪化(予算削減など)だけは絶対に避けて欲しい。ここ数年の保育園への予算削減の煽りを受け、コロナ禍よりも前から年々、以前は実施されていた年間行事が複数なくなり、以前はあった保育サービスが保護者負担となっている。保育料が高額、保育の質も悪い、そんな環境に大切な子どもを預けるくらいならば他の自治体へ転居する・と言う家庭が増えた場合、長い目で見て市政にとってデメリットなのではないか。

・産前に頑張って(職場から請われて、または自分の意志で、に関わらず)働き、税をたくさん納めている家庭ほど、産後保育園に入れる際の費用が高いことには納得していません。我が家は21階層です。産後の働き方にフルタイムの選択肢以外はありませんでした。保育料が高すぎるからです。楽しくパートタイムで働いても保育料が安いから生活楽勝なご家庭が恨めしく思うことも正直あります。そういったご家庭は働く時間も短く、お迎えも早いので家族団欒の時間も充分にとれているんだろうな、と思うと不公平だな、とも思います。ただ、保育料は全家庭から平等にとっていただければ不満はありません。保育士さんの労働環境、賃金も平行して改善していこうとするならば、収入源として保育料を高くしていただいても構いません。財源確保から目を背けて保育料はさげろ、だけど保育士さんの労働環境も改善しろ！というあなた方のダブルスタンダードな活動には正直賛同いたしかねます

・18階層に当たるが、余裕はありません。京都市の財形が赤字だからと、子育て世帯に負担を背負わせるのはやめてほしいです。

・これ以上あがると上の子どもたちの習い事の費用が捻出出来ない。第3子で保育料を支払っていない家庭も多く、それだけでも不公平だと感じているのに、これ以上保育料が上がるのはありえない。

・9月の保育料改定で約1万円値上がりしました。私は夫の扶養内で働いているので、収入を増やすことができず、正直厳しいです。たくさん働いたところで、その分保育料も上がるので、フルタイムで働く気にもなれません。

・所得に対する料金ではあるが、いきなり大きくあがって、生活がきつい  
・保育料の値上げは、子育て世代の流出を加速させる。現在の保育料は高いと感じる。  
・高いなと感じます。しっかり保育園に還元されていればいいとは思いますが。  
・お金を払いたくないわけではないが、給食費がやたら、高い。そんなに食べないのに。内訳に不満がある。

・値上げの方針が今回のように大々的に出される以前から、同階層でも年々値上げされていたことがあった。月々でみると500円未満がほとんどだが、中間階層の世帯には年額にするとかなりの負担になっていたはず。その事実があまり知られていないこと（分かりにくく小さな表記だった）ことに実は前から怒っていました。特に、上の子と少し年が離れているため、姉が卒園し2人目のはぐくみ応援額の対象から外れた乳児期が一番保育料負担が大きく、延長保育の追加料金も含めるとかなりの額を払っていた。

・シングルマザーで病気もちなので、ケアしてほしい。  
・家計に対して負担があまりに大き過ぎる。1月より次男の入園を希望しているが、3歳未満児が2人となると育児休暇から復職して得られる手取り収入と保育料がさほど変わらない。仕事量を増やし、収入が増えたところでさらに階層があがり、保育料が上がることに納得ができない。他の自治体の保育料水準と比較して話にならないほど京都市の保育料は高い。「子育て支援 No.1」を謳っている割に、全く恩恵が受けられていないのが現状。保育料、医療費の負担が子育て世代にのしかかりすぎではないのか？京都市は保育料を軽減すべき。生活保護の不正受給を取り締まり、神社仏閣からの寄付を募る等、他の方法はないのか？もっと頭を使って欲しい。「とれるところからとる」こんな意識は早く捨てていただきたい。

・現在の保育料も高いと感じているのに、これ以上値上げされるのはかなりキツイ。  
・現状も消費税や住民税など半分近くの給与が税金に消えていなかなか贅沢出来ません。その様な中、保育料の値上げとなると更に家計は厳しくなり、買い控えなど結果的に景気にも悪影響だと思えます。

・今の状態を維持して欲しい。なぜそこを値上げするのかがわからない。保育料があがることで家計への負担は絶対に出てくるので子育て世代にとって住みにくい町になってしまうと思う。離れていく人も出てくると思う。もっと他で削減できる部分があると思う。

・歳の離れた末っ子で、上の子が大きいので教育費や食費などが多くかかり、さらに保育料は何も負担減になるものが利用できなくて全額払わなくてはならず、本当に困りました。収入があっても支出も多いので、考慮してもらえたらなともいつも思っていました。

・生活費が過去の世帯よりかかる現在の世帯において、値上がりするのはきつい。なぜ保育料等値上げの方向になったのか疑問です。

・払うが、値上げは家計的に厳しい。3歳まで保育料もかかるので、負担額を減らしてほしいのはある。

・保育料が高いため、家計を圧迫したり、次の妊娠、出産、育児だけでなく、現在の生活も圧迫している。他地域と比較すると、なぜ京都市は割合が高く、さらに値上げの方針となっているのか、

子育て世代への考え方に疑問である。他府県などへの移転も考慮される。

### **無償化希望**

- ・3人目を保育園預けていますが、保育料が無料かどうかのボーダーラインで金額が大きく変わります。また、実費を取られることで、保育料無料のメリットを感じません。生活に余裕を持たすために、収入アップを目指しても、保育料に消えてはもとも子もありません。しかし、預けなければ就業出来ずで、保育園のあり方を考えればもれなく無償化でもよいと思います。
- ・子どもは社会全体で育てていくべきなので、保育料は無料でないといけないと思う。
- ・子どもは社会全体の財産であると思うので、保護者が保育料を負担するという考えはおかしいと思う。保育に必要なお金はすべて公的に負担すべきで、実費も徴収すべきではない。収入があっても、保育料が高すぎて、生活に余裕はない。
- ・保育料と実費を合計したのが実質の負担額になると思うので一体化した料金として子育て無料化を実施してほしい。
- ・給食費は保育料として無償化にして欲しい。
- ・乳児も無償化してほしい

### **保育の質**

- ・保育料が上がって保育の質が格段に上がるならいくらでも良い。収入に応じて区別するから不満が出るので、保育園でそれぞれ金額を設定したらいい。
- ・今以上の負担は家計にも響くが、保育料が上がらない事で必要な保育士を確保出来ないことに繋がるのであれば、どちらも困る。
- ・保育の質・環境を保つためなら、値上げしても構わないと考えています。3歳児保育料無償化よりも0、1歳児の保育料の軽減の方がありがたいです。
- ・保育士に還元されるのであれば、保育の質があがるのであれば、年収の高い家庭の保育料をあげても良いと思う
- ・収入の分、保育料がかかることについては、必要なことと思う。そのかわり、保育士の配置基準をあげるなど、保育環境の改善にお金をたくさんつかってほしい
- ・先生達の処遇や保育の質に関する事の値上げは、受け入れるが、京都市のしわ寄せによる値上げは到底受け入れられない。
- ・安く済むのであれば、それに越したことはないが、保育者が減ることで、保育の質を落とすことは本意ではなく、財政難の京都において、取捨選択や、折り合いが着けばいい思っています。
- ・福祉政策に対する基準を下げることはやめてほしい。
- ・今のままの保育体制、保育の質が変わらず続けるために保育料が上がるのは仕方がないが、保育体制も今以上に大変になり散歩やプールなど、こどもたちに必要なことができない状況にもなり、値上げもし…っとなると本当にどうなんだろう…っと思います。
- ・保育の質を上げるための値上がり(先生方の給与や、人数を増やす)は納得できるが、今回はそうではなく政財政破綻しないためのコストカットの意味合いがあると思うので、いまいち納得していない。

### **保育士待遇**

- ・保育料の値上げは子育て支援に逆行するものだと思う。単純に値上げするのではなく、せめて現場の保育士さんの待遇改善なども同時に議論してほしい。

・保育料はまあまあ負担ではあったが、据え置きでいいと思う。その代わりに、職員さんの給料を上げるために京都市ももっと予算を出すべき。

・無償化や負担減はありがたいと思うが、財源の問題もあるので、保育士の所得増や保育環境の改善にお金をかける事を1番に望むので、そこに還元されるのであれば、その費用のためにも保育料はかかってもいいと思う。

・保育スタッフの待遇改善のために、広く浅くの負担が必要であれば、応えたい気持ちは大いにあるが、国基準の金額ほどに増額すると、生活を変える検討が必要になる。

・保育施設の職員の方への給料、施設充実につかわれるなら仕方ないと思う。保育料を値上げするなら、保育士さんへの待遇を良くする事に使って欲しい。

### **実費負担**

・保育料を国基準に変更することは直接、保護者への負担となるが、『京都市民間保育園等職員の給与等運用事業補助金』が廃止又は削減された場合、園の運営体制が見直され、実費費用にその分が転嫁されることはないのか？その場合、保護者は二重苦となる。

・保育料以外の実費負担が高すぎ

・保育料は無償になっており、実費負担は当然のものとする

・保育料を見直すなら、幼児の保育料無償を見直したら、財源確保出来るのではないかな？

我が家はもう通っているのが4歳児のみなので、金銭的な負担は少ない。ただ、園によって実費に差がありすぎるのも気になる。

### **賛成意見**

・3歳以上無料になったのだから、それまでの負担が増えても仕方ない

・現状に満足。保育料が上がって満足。

・全体最適での判断であれば、従う。そもそも保育料無償化で家計はだいぶ楽になったので、保育料が増えてもそこまでしんどくはない。

・必要ならば払いますが、あまり高くなると助かります。

・非課税世帯という事で保育料が免除されているのは本当に助かっています。ありがたいです。実費も家計で賄えるので大丈夫です。これからも福祉、保育の水準を下らない様に少しずつでも上げていってくれるなら、京都市に税金を払う事も前向きに思います。が、財政難が理由で福祉、保育の予算を削るような事があれば税金を払いたくないなと思いますし、長岡京市などへの引っ越しも考えると思います。

・必要な範囲で徴収したらよいが、保育料の設定には経済的弱者への配慮が必須。

### **不満・反対意見**

・実際に家計に負担があるかどうかとは関係なく、子どもを育てることは、社会の責任においてやるべき。なので、値上げの方針には反対。乳児の保育料も無償化するなど、女性が働きやすくなる環境も整備してほしい。もしくは、どの世帯でも保育料が十分に払えるよう世帯の収入を増やすなど、とにかく、保育料が高いから預けられない、働けないという事態にならないような政策を求めます。

・値上げは猛反対します。財政難はわかるが、値上げするところはそこじゃない。色んな事情で保育園を利用している人がいる。0歳児を預けるなんて余程の事だと思ってもらいたい。0歳児も無料にして欲しいところに値上げなんて通わせられない。家計が破綻する。

・乳児期に関しては、仕事復帰をしても給料が保育園料になくなり生活が厳しかった。また、入園

当初は体調不良で月5日以内の出席であっても保育料全額支払う事に納得がいかなかった。

保育料以外にも保育園によって必要経費がかかっているのもこれ以上の値上げは反対。

・ありえない。自治体として、福祉の充実に無関心すぎる。財政赤字は、市民のせいではないはず。そのしわ寄せが私たちにくるのは間違っている。

・必要な施策かもしれないが、少子高齢化の中で生産性を増やすことが重要なはずなのに、真逆なことだと感じる。ただ単に保育料だけ上げるということでは納得はできない。保育料のこともそうだが、京都府は府民・市民への還元があまり厚くないと感じる。

・これまでの京都市の方針とあまりにも異なりすぎる。かなり前から財政が厳しいことはわかっていたのに、議会や市長が先延ばしにしてきた結果、子育て世代とこれからを担う子どもたちにそのシワ寄せがいくのは納得いかない。まず、非課税となっている京都市内の寺院（観光での集客が見込める施設）には固定資産税の課税及び所得税法人税課税額の引下げなど、検討できる事がたくさんあります。その上で、保育料も数%の増加を強いられるのであれば納得できる。

見直しをしている対象が子ども達に大いに関わる箇所なので、この負担増が実現すると、京都市の財政破綻はより現実味を帯びることになる。

・財政困難の場面を子どもや働く世代に賄ってもらおうとするのは違うのでは？たくさんある寺や神社から税金を取れば済む話。坊さんのくせに金持ちばかり。

・基本的に保育料の負担増については反対。少子化時代の中で子育てに掛かるお金を減らすことが対策であるにもかかわらず増やすことは少子化対策に逆行していると思います。

・なぜ保育料を上げなければならないのか理解できない。働く親や子供たちにとって、何が1番最善なのか、コロナ禍の中でより生活を豊かにするのかを、今一度考えてほしい。

・高所得世帯への保育料の増額はしていいと思うが、税金による補助金の額も増額して、保育士の待遇改善、保育環境の改善、副食費の予算化、使用済み紙オムツ一括処分費用の負担などをすべきである。低所得世帯の保育料増額はすべきでない。

・そもそも、2人目なのに小学生であるためにはぐくみ応援対象外なのにも納得できない。それなのにまだ保育料が上がるなんておかしい。同じ保育を受けるのに保育料に差がありすぎるのにも不満がある。働けば働くほど保育園が上がって生活が豊かにならないのはおかしいと思う。

・できる限り値上げしないで良いように、行政が施策を講じて欲しい

・大学まで無償化こそ、目指すところなのでは無いかと思います。値上げは後ろ向き。もっと、遠い先子どもたちが大人になる頃までにどのような力を育むべきか、国として教育に将来設計できているのか心配です。実費に関しては子どもが使ったものなので支払うのは当然だと思っている。

・世帯収入の少ない家庭の負担を増やすことは絶対にあってはいけない。

・値上げは断固反対する。子育てしやすいまちづくりをしてほしい。子育て世代ばかりにふたんをしいるなら京都市を出て行くことも考えている。

・財政難とはいえ、ただでさえ近隣自治体より高額に設定されており、また福祉分野の負担であるにもかかわらず、値上げになるのは子育て世代への施策が軽視されていることの表れであると考えている。また、実費についても保育料とは違って施設により異なり、低所得世帯ほど影響を受ける制度であり、見直すべきであると考えている。

・長年かかって保育料の負担軽減が実現してきたのに、京都市は何の反省も努力もなく、簡単に値上げするなど有り得ない！

- ・実費は致し方ないと思っているが市の定めている保育料はもっと下げてほしい。国の3歳児把握無料化についても3歳になった月から無料になって欲しい
- ・前の収入によって増減するやり方は良かったと思います。今のやり方によって、まだ日も浅いのに、ころころ変えないでほしいです。
- ・保育料値上げには反対です。
- ・出来るだけ抑えてほしい
- ・出来れば値上げしないで貰いたい
- ・値上げに反対です。少子化で頑張っている中、負担を減らして欲しいです。子どもは社会の未来です。
- ・値上げ反対です。
- ・値上げしてほしくないです。
- ・値上げすべきではない
- ・反対です。
- ・最低、そのままに欲しい
- ・なぜ未来を支える子どもを育てる者からとるのか。子ども要らないってことですか。
- ・困る
- ・金銭面の不安なく、子育てできる環境を作ってほしいと切に願います。
- ・公的補助がほしい

### **その他意見**

- ・働きたい人が十分働きながら、どんな収入の人も保育を利用でき、そのために子どもが毎日笑ってられる家庭を一つ一つ増やすべき。
- ・保育料をあげることで、子育て世代にとって京都市が住みにくい街になり、若い世代の人口流出もやむを得ない。京都市が廃れるか外国人に買い漁られるかなと思う。
- ・京都市の財政が最悪な状態になったら地方に移住します
- ・収入が低いので負担が重いのはあるていど致し方ないと思う。近隣の自治体はもう少し安いと聞くので転居も考えている。
- ・自治体が財政危機にあるならやむを得ないのは理解できる。しかし社会福祉行政サービス全てが悪化していく事が分かっているので、今すぐではないが他自治体への転居を視野に入れている。
- ・子育てにお金をかけられない自治体に未来はない。社会の中で保育という社会保障の優先順位が低いことの表れだと思う。そして正直なところ、それを覆すことへの徒労感がある。こうした意見の集約や運動は大変ありがたいが、政治や行政を動かすことは難しいだろうと思う。ここはいつそ前向きに考え、公助に頼るのではなく、新たなコミュニティと自治、相互扶助について考えるべき機会にするしかないと思う。
- ・他の自治体に比べて子育て世帯に優しくないと感じている。子育て環境が整わないのは市政にも影響が大きいと思うが？
- ・もっと子供に優しい、京都市になって欲しい
- ・京都市は、子育てに対して明るい未来が無い自治体だなとしか思えない。
- ・本来ならば、行政が責任をもって子育てサポートするべきと考える。
- ・国の基準は上限値である。そこへ合わせるのは一足飛びではなく3ヶ年計画で随時変更するなど、



せめて経過措置がなければならぬと考える

・収入の低い世帯は上げず、高い世帯の負担を増やして欲しい。京都市の公務員の共働きの負担を増やしては？

・所得の再分配の考え方で、階層が高い分負担が大きいのは仕方がないと思っているが、子どもを社会で育てるという考え方からいくと、負担が大きすぎると感じる。大金を支払っているはずなのに、園の経営が厳しい、先生の待遇が悪いと聞くと、保護者としては支払った保育料がどのように使われているのか透明化してほしい。

・値上げした保育料の使用用途を明確に示して欲しい

・安いと嬉しい

# 保育園があってよかったと思うエピソード

## 仕事

- ・介護福祉士として働いているが、息子が保育園を利用できなかつたら、介護の現場を復帰出来なかつた。また、少しでも家計にゆとりがあることで、息子に色んな経験や、好きなものを食べさせてあげれる。
- ・仕事に復帰できた日に、やっと社会とのつながりを取り戻せた、と思いました
- ・仕事ができる。集団生活で社会性が身につく。思いっきり遊ぶことができる。お友達もでき、とにかく子どもが楽しんで通うことができている
- ・コロナ禍で、上の子の参観や病院に下の子を連れていけないシーンに保育園で見てもらえること。感染リスクから祖父母に預けられないので、仕事が急に長引いたときも預かってもらえたこと。
- ・うつ病にならずに済んだ。仕事を辞めずに済んだ。
- ・一人目育児で、園庭開放があり、部屋にこもらず、外で遊べてよかった。何はともあれ無事に育休から復帰できたのは保育園のおかげです。
- ・安心して仕事をするができる。集団生活を通して、こどもの成長を実感できる。”
- ・安心して働ける
- ・仕事を続けることができる。子供と一緒にじゃない時間が持てる。家にいるだけではわからなかつた子供の一面を知ることができる。
- ・就労に励め、お金が稼げる
- ・安心して仕事に行けている
- ・安心して働ける
- ・安心して働ける。また子育てで悩んだとき、寄り添ってくれる
- ・共働きができる。夫婦の時間が作れる。。
- ・仕事ができること。子どもが友だちと育っていく中で、色々な事を学んでいること。
- ・仕事が継続できる。
- ・社会活動に復帰できた
- ・社会復帰ができた
- ・働ける。

## つながり

- ・子育てはどうしても孤独になりやすい。保育園に預けることで自分以外の大人が真剣に自分の子どもに関わってくれることがとてもありがたい。子どもを育てると言うことは命に責任をもつということ。今の日本の育児は母親に偏りすぎておりとても重荷になっている。いっしょに子どもの命や生活、生き方を背負って歩いてくれる存在が保育園であり先生方だと思っている。子どもたちも、そしてその親も、保育園に救われている。
  - ・周りに親も友達も少なく、ひとりだけで育てている感覚が強く、保育園の先生方、保護者の方とで会い、みんなでわが子の成長を見守る事ができ、とても力強く安心しました。保育園は家族です。
  - ・毎日、親以外に気にかけてくれる大人が複数いる環境。保護者の繋がりを得られたこと。
  - ・年子育児に疲れていた時に担任の先生に話を聞いてもらえて助かりました。
- また、保護者同士のつながりもできて、他府県出身の私にとってはありがたかったです。

・保育園があるから発達の遅れや、フォローをしていただき生活できると思います。今通っている園は、まさにそのもので、素晴らしいと思います。一人ひとりを大切にしてくれる、子供が楽しんでいくことは本当に嬉しいです。

- ・1歳になる前から多くの先生に見守ったいただけ、発達のことなどを気軽に相談できること。
- ・1人目の子育てで、仕事との両立にバタバタしていたときに、先生が毎日こまめに声をかけてくださって、仕事をしている自分ではなく『母』として認めてもらえている実感がもてた。
- ・子育てで息苦しくなった時に、先生方に支えられた。
- ・保育のプロと話せる機会は新米両親にとって有り難い
- ・家族以外に子育てを共有できる方や施設があるのは有り難い
- ・育児のことを保育士や保護者に相談できる。保育園で出会った保護者とは卒園後も交流が続き、色々なことを相談したりできている。
- ・乳児のとき様々な些細な事を相談できたこと。広い園庭で安心して遊べる環境があること。手作りで栄養バランスのとれた給食を頂けること。
- ・いろんな保護者と交流して、子育ての悩みなどを相談できる。保育士さんから子育てについていろんなことが教えてもらえる。子ども同士が友達とつながりながら、成長を実感できる。
- ・いつも保育所にお迎えに行くと、先生方が笑顔で「おかえりなさい」と声をかけてくれます。子育てや仕事で疲れていても、世間ではそれが当たり前のような風潮があり、また肩身の狭い思いもしたりしますが、そんな自分に「おかえりなさい」と声をかけてもらおうと認めてもらえたような気持ちになり、「これでいいんだ」と思えます。子どもを預かっている場所でありながら、いつも親の自分の気持ちも支えていただいています。
- ・こどもの友達との関わりが増え、保護者同士も仲良くなれた。
- ・我が子の事を親と同じように真剣に考えて接してくれるのは家族と保育所の先生だけ。本当に有り難い。

・子どもをまだ保育園に預けていなかった頃、普段仕事をしていた事もあり、自宅周辺に知り合いが居なかった。子育て支援施設の利用も数回したが、既に出来上がっているコミュニティに馴染めず、当たり障りのない会話をするだけで通い続けたいと思えなかった。そんな中、いざ保育園に子どもを預け始めて以降は、保育園の先生方にふとした疑問や不安を相談できるようになった。親身に相談にのって頂けて、何度も救われた。また、クラスに関わらず、送迎時間が近い保護者とは少しずつでも自然と会話が生まれ、子どもを通じて知り合いが増え、知り合いの知り合いとも話ができ、互いに愚痴や悩みや笑い話をするようになった。休日に時間を合わせて一緒に遊ぶ事もできた。兄弟を持つ保護者の方から、もう少し大きくなってからの情報を貰い、自分もまた上の子どもの話を下の子ども世代の保護者に伝えられた。

保育園を通じて、経験豊富な先生方からアドバイスを頂き、同じ年頃の子どもを持つ保護者の輪が広がった。

- ・長い時間をかけて少しずつ、保育士や保護者の方と関係を築いていくことができた。
- 入園前は孤育てだった。入園後、子どもにつぶさに向き合い、成長を喜んでくれるプロの味方がたくさん出来て、何よりも心強く、本当に嬉しかった。
- ・保育園の先生と一緒に子育てできたこと。保護者同士で交流ができたこと。
  - ・色々子育て相談も出来、働きやすい

・日々の子育ての中で出てくる小さな不安や悩みを、先生に相談できる。長い時間子供を見てくださっている先生と、子供のことを相談したり共有できたりすることで、親自身が精神的に救われていました。

・娘がイヤイヤ期で1人で家で考えるより、保育士さんに相談できたのが救われた。また2人目妊娠中つわりがずっとひどく産休中も1人目みてもらえたのが大分ありがたかった。

・保育士さんや、他の保護者と子どもについて共有できたり、仲良くなれたりしたこと

・子どもの発達や子育ての不安など先生や保育園のママ友に話すことで不安が和らいだ

## **経験・成長**

・子供が家族以外の他者を信用し、社会生活を営む上で必要な協調性や思い遣りを自然に学ぶことが出来た。現在の保育園は、1人1人の在り方や伸ばし方に気を配る保育士さんが多く、家庭だけでは満たせない部分をサポート頂き、大変感謝している。

・管理教育ではなく、話し合いの場を大切にするなど、大人でも忘れていた民主主義の基本を体感できているところ。

・家庭では日常経験できないことをやれること（ぬたくりしたり、園庭やホールで身体を動かしたりリトミックをしたり）。

・子どもが0歳児の頃、離乳食や生活の仕方など丁寧に教えてくれたこと。同じように0歳児から保育園を利用する友だちは、子育てと仕事の大変さを共有できて戦友のように感じる。

・うちは経済的に子どもは1人と決めているのですが、年上・年下の子たちと触れ合う機会があることで、上の子からは刺激を受け、下の子には優しくするということが学んでいます。

・トイレトレーニングは楽にできた

・子どもが、他の子どもたちや先生たちと関わる中で、自分の世界を広げることができたこと。

・集団生活を学べること、バランスのとれた食事、規則正しい生活が身に付く

・友達と互いに影響しあって成長できること

・数限りなくありますが、家でも先生の話をしてると、良い大人に囲まれて幸せだなと思う 毎日のように新しい単語を覚えてくる

・切磋琢磨して成長しているところ。早く歩けるようになった。いつも子供が楽しそうにしている。

・運動会で、高いところに登る姿をみて感動して泣いた。

・子どもにとって刺激があり成長を感じる。子どもの成長を共に喜んでくれる先生がいてくれて、心配ごとを聞いてくれる先生がいてくれて、私自身の心のバランスが保てていると思います。

・子供が親と離れて集団の中で生活する事で、精神的にもすごく成長したと感じた時。

・自立した子供に育った

・社会性が身につく、毎日楽しそう。たくさんの経験をさせてもらえて、導いてもらえる。親も保育士に救われています。

・成長を喜びあえる。自宅ではなかなかできないたくさんの経験や他人との関わりを経験できること。

・沢山の経験をさせてもらって、日々の成長を感じるができる。

・話す言葉が一気に増えたり、反応が大きかったり、子どもの成長を感じる時

・子に障害がありますが、加配の先生を置いてくださり、子供たちと一緒に過ごさせていることは子にとっても、他の子にとってもかけがえのない経験をさせてもらっています。

・親とは違った距離感で、子供と接する大人の存在は大事だと感じます。集団の中での過ごし方や気持ちの整え方を学び、毎日刺激を受けて育ててくれているのはありがたいです。親が教えきれない日々の生活のことも、保育園の先生が教えてくださり、そのやり方を親も学べるので、保育園に行けてありがたく思います。

・親の教えではなく、同年代の子供の中で何かを感じ、学び、成長してくれることは兄弟がいない中でとても心強い。

### **充実**

・家で笑って過ごせている、安心した表情で眠っている、そういった毎日を過ごせていたのは安心して毎日通えた保育園があったから。

・我が子が保育室で楽しくすごしている様子を毎日見るにつけ、子どもには子どもの世界があると感じている。そのような中で育てて欲しい

・プールの日でも〇〇に夢中だったので、プールはパスしてますなど、本人のこだわりを尊重してもらえていること。今日は誰々と何をした！セミやダンゴムシがいた！オクラを収穫した！先生がこの本読んでくれた！とキラキラした顔で報告してくれる子どもの顔を見るたびに、つまりは毎日のように保育園に通わせて良かったと思っています。

・子どもを尊重してくれる

・子どもが毎日楽しそうに通っているだけでうれしい。

・先生や友達のことを楽しそうに話している子どもを見たときは、預けて良かったと感じる

・楽しそう

・楽しそうにしている

・プール遊び、運動会、給食

### **給食**

・給食の充実

・家ではなかなかできなかったことができるようになった。毎日栄養バランスのとれた食事をいただいている。

・ご飯をしっかり食べるようになった

・家庭では、食事が偏ったり、食べなかったりすることもあり、食事量や栄養が偏りがちなため、給食やおやつなどの機会にしっかりと食事をとってもらえるのはうれしい。(甘え等様々な要因はあるが)一人っ子で親戚に年齢の近い子どももいないので、歳の近いおともだちがたくさんいる環境で生活すること自体ありがたい。

・季節の食材、栄養バランス、丁寧につくられた給食がとてもありがたいです。色んな遊びをしてもらったり、ほかの子供達との触れ合いで、社会性、好奇心や、色んな感情が出てきて、心が豊かに育っているように感じます。

・子どもがイヤイヤ期で野菜とかを食べなくても、保育園でもバランスの良い食事が出てるので有難い。

・子供が延長保育のおやつを喜んで食べていたとき

### **友達**

・お友達と伸び伸び楽しく過ごしている事

・子どもに小さい頃から仲の良い友達ができた。保護者同士が知り合いになり地域に知り合いがた

くさんできた。

・子ども同士のつながりで、遊びや生活のルールが身につき、小さい子に怒らず優しく教えていた姿を見たとき。子どもの「したくない」という気持ちに寄り添い、他人の言うことを必ずきかなくてもいい、自分で考えて決めたことなら受け入れるという姿勢でいてくれた。だから、自分の意見を言えるだけでなく、他人に自分の考えを強制することもないし、相手の嗜好を尊重できる子に育っている。

・子供が先生や友達との関わりを通して楽しみ、我慢、喜びなど色々なことを体験できること

・子供同士でのケンカやトラブルの時、すぐ止めるのではなく、話し合いの仕方、どうしたらいいのか先生が見守って、導いてくれること。自分の子供は、意見の言い方、違った考え方の人とどう折り合っていくかの経験を積んでいると思う。

・通い始めて半年ほどになりますが、初めは泣いている姿もあり心が痛むこともありましたが今は迎えに行くと笑顔で飛び付いてきます。先生や友だちと過ごすことが楽しい嬉しいという気持ちがとても伝わってきます。また私自信も初めての子育てで育児や子どもの成長について分からないことも多いため相談ができたり、同じ立場の保護者の方達と話す機会もあり良かったと思います。

・母と子だけで1歳半まで育ててきたので、お友達や他の大人と接する場が増えて、子供も楽しそうなのでよかったです。育児の不安な部分を相談できる。

・お友達とたくさん関わること。喜びを共有したり、悔しい思いをしたり、友達への思いやりの気持ちを育むことができること。

・異年齢保育が本当に良かったです。もっと増えて欲しい。

・一人っ子なので、生活感のある保育の中で、同年代の子と関わりがもて、家庭だけではできない社会性を育むことができている。

・家から近くの保育園に通わせているので、週末など近所の公園に行くと、しょっちゅう、園のお友だちと偶然会えるので、一緒に遊ぶことが出来て良い。

・近接した年齢の子供と接し、生活をともにする機会がある。

子どもに友達ができて、社会性が身につく。親と子どもが離れて過ごす時間があることで子どもの自立心、親の心のゆとりができる。

・子は1人です。その子を私たち夫婦だけでなく、なるべく多くの大人達子ども達の中で育てている事がいちばん大切だと思います。年上の子ども達が我が子を兄弟の様に可愛がっている所をよく見ます。子が通う園は食の安心と安全を確保してくれています。家で食べるよりも何でもたくさん食べていると聞きます。子どもは何より大切ですが、私にも1人で過ごす時間ができて本当に助かります。

・人との関わりを学べる。ケンカをしちゃったけど反省してたり、「〇〇が1番上手にできた」など周りとの競争意識など、家庭内では中々芽生えにくい感情が育てられる。

・保育園があったから五人きょうだい!!

## **リフレッシュ**

・どんなにかわいい子どもでも一日べったり一緒にいると疲れてしまう。仕事に比べて数時間ぶりに会う子どもはとってもかわいい。家では体験してあげられない遊び(絵の具など)を体験させてくれる。

・はじめての子育てのとき、毎日先生と会って話すことで、元気づけられた

- ・子どもにイライラとしても、空間的に離れると、お互いにリセットすることができる
- ・コロナで初めての緊急事態宣言で保育園に行けなくなった時、私は妊娠中で悪阻の中の在宅勤務、息子は4歳で体力が有り余る毎日。お互い体力的にも精神的にも限界になり、保育園が再開したときはこれまで経験したことがないような安心感でした。
- ・身体的にも肉体的にも辛い時、子供が保育園に行っている時間、ゆっくり休めた。
- ・双子育児だったため、保育園まで連れて行けばひとまず双子育児の肉体的・精神的負担から解放されるのはとても大きかった。多胎児の乳児期は本当に大変なので、保育園がなかったらと思うとかなり追い詰められていたのではないかと思う。上の子どもを含めてたくさん友達もでき、集団生活の中で家庭ではできないいろんな遊びをさせてもらって、子どもの成長を保育士の先生方が一緒に見守ってくれている環境はとてもすばらしいと思う。
- ・相談ができること、親の時間がもて休憩ができること、テレビやタブレットなしで教育できること、皆で遊べること
- ・入院などで緊急な対応にも、迅速に対応してもらった。2人目出産の際には、1人目のフォローもしっかりあったし、リフレッシュしたいときは土曜日でも嫌な顔せず預けられるのは助かる。
- ・ひとり親で自分の体調不良の際、病院受診をしたい時に預けて良いよと言っていた時。
- ・1人目が生まれて子供とずっと一緒にいると、産後鬱というかノイローゼになりそうでかなり疲弊していたので、保育園に預けて仕事に復帰して、自分のペースで動ける時間が取れたことで、子供への接し方に余裕ができたのが良かった。
- ・子供の性別、性格による成長の違いを他の子供を近くで見ることによって納得したり、保育園の先生と話すことで理解し、精神的に追い詰められずにすんだ

### **その他**

- ・今の保育園に入れたこと
- ・上の子や下の子が病気になったときに、他の子を預かってもらって、病院に行くことができる。今の時代病院すら、大人数では行けないので…
- ・双子の姉が心臓疾患があって、入院しないといけない時、母親も付き添い入院になるのでその時は保育園がないと父親が仕事に行けないので保育園があって助かる
- ・妊娠、出産、育児で母親が病気になった際に上の子供を預けさせていただき、子供、親の健康、命をつないでいただけた。

# 保育施設・保育内容で改善してほしいと思う点

## 保育士の数

- ・こどもの人数に対して保育士が少なすぎる。配置基準を改善すべき。
- ・保育士の人数がギリギリなので、一人一人を見切れなと感じるところがある。保育士の人数を増やしてほしい。
- ・保育士の数
- ・保育士の配置人数を増やしてほしい。すべての保育施設で保育の質を同じにしてほしい
- ・保育士の方々がお忙しそうで、数を増やしてほしい。
- ・保育士の労働改善について、保護者を味方につけて行政に働きかけようとする姿勢を改めてほしいです。正直辟易しています。働く人がいないなら、AIに外注できるところはないか見直すべきですし（検温、入退室管理、掃除、食器洗浄、連絡ノート etc.）、ほんとうに自分達でできることはもうないですか？自信をもってそう言い切れますか？人材不足はどの業界も同じですし、待遇改善だけで解決する問題ともいえません。こどもの命を盾にして、世論からはむしろ守られている存在だと思っています
- ・保育士を増やしてほしい。
- ・保育士を増やすべき。どこの保育園も保育士が足りておらず、保育士への負担が大きい。もっと保育士への賃金も上げるべき。
- ・保育士不足がひどすぎる。
- ・児童に対しての保育士の人数を世界基準に改善してほしい
- ・時間帯によってクラスに一人の先生しかいない点
- ・特に幼児クラスになると先生の数に対して子供の数が多くなるので、もっと先生が多くいてくれたら一人一人に目が届きやすくなるのではないかと思います。今の先生方も本当によくしてくださっているのですが、先生の負担を軽減するためにも、保育士の配置基準をより手厚くしてほしい。
- ・こどもに対する保育士の人数の基準を増やす。
- ・子ども一人一人に寄り添える保育士の人数にしてほしい。現在の保育士配置では、クラスをまわしているだけで、子どもの心に寄り添ってはいない。
- ・先生が少ないので預ける時も気を使う。先生の目がいきとどいていない時があると思う。
- ・送り、迎えのタイミングが合わず…一週間担任にあつてないことがたくさんある。正職の担任の先生がもう少しいれば…っと思う。
- ・保育士がお迎えの時間には少なくなっており、話したくても担任と話をゆっくりしたりできないこと。
- ・保育士の確保、待遇改善を期待します。
- ・保育士の基準配置数改善
- ・保育士の人数を確保できるように、環境を整えてほしいが、保育園の負担ではなく、社会で負担して無理のない保育を実現してほしい。
- ・保育士の数
- ・幼児の保育士が人数に対してもう少し増えて欲しい。



## **保育士待遇**

- ・通っている園児に改善点はないが、すべての園で保育士がゆとりを持って子ども達と関われる環境であってほしい。
- ・今、子どもを通わせている保育園に対しては特にはないが、全体として、保育士の待遇も改善されるべきだと思う。
- ・保育士さんなどスタッフの待遇。
- ・先生方の待遇。より良いものに。
- ・職員の安定性、処遇の改善。頑張ってくれている現場の先生方が長く働き続けられるために、労働環境や処遇の改善は必須。先生方の心のゆとりは子供達への関わりに絶対関連してくると思う。
- ・先生のお給料を上げるべき。
- ・保育士、施設への手当を厚くして欲しい
- ・保護者との意思の疎通が十分にできるとよい（現状の保育士の体制がきつすぎる）。

## **保育士の質**

- ・公立保育所の先生の質の向上。時代に合わない古い知識を持った先生がフリーでクラスに入るのは辞めてほしい。先生に傷つけられたし、先生が陰口を言っていたのに、保育所は対応してくれなかった。
- ・子どもがけがした時に、見えてないとか知らないをやめて欲しい。（子どもからけがしたと聞く事があった）
- ・社会情勢から保育士の負担がどんどん増えている。プリント配ったりいらないので子供達との関わりをもっと重視して欲しい。昼寝の監視やプール・散歩の監視に人員が必要なので、本当に大変だと思う
- ・書類のケガやアレルギーについて、知らない、対応できない人が多い。研修はしてないのか疑問。小学校は、専門ではなくても一律に対応できている。
- ・本当にダメなことに関しては親の目を気にせず叱っていただいて良いと思います。子供の基準を明確にさせるため。全ては難しいと思いますが、本当にダメなことは本気で叱って欲しい。
- ・保育士のやらされてる感や権利の主張ばかりが感じられることがあり、仕事に対しての向き合い方を考えてほしい。

## **異動**

- ・公立保育所に預けているので先生方の異動が多く、顔見知りの先生がつくりにくい。せっかく担任してもらい、親も子も頼っていた先生が異動される時は、何度経験してもショックです
- ・ここ数年、公立保育園の先生方の異動先が、他園ではなく事務方となって役所(だけではないが)に勤められる事が急に増えた気がする。ご本人の希望による事務方異動であれば理解できるが、聞いている限り望んでの異動ではないように感じた。保育士のなり手がなかなか増えないと耳にする。経験豊富な現職の先生方を現場から離す意図は何なのか。保育士の働く意欲と、働く環境(賃金、労働時間も含む)を、より良く継続させられるよう理解と対策を練って頂きたい。その事が、利用する子どもや保護者にとってもより良い環境に繋がると信じている。

## **施設**

- ・施設が古く雨漏りを直す気配がない。地震が心配。無理かと思うが先生の人数が足りない。
- ・教室がもう少し広いほうが良い。

- ・認可外保育園が狭い
- ・子どもたちが生活する場所なのに空間が狭すぎると思う。すべての保育園で園庭など、子どもたちが安全でのびのび過ごせる環境を整備してほしい。また、保育内容については、子どもの保育園は習い事などは一切ないが、それでも秋から冬にかけて行事が多いように感じる。その準備のためなどで、保育場所が限られていたり、保育士が準備で疲れているように感じる。保護者とは日常の保育を共有するだけで十分で、行事化する必要があるのか疑問に思う。
- ・寝食遊が分離した空間
- ・もう少し広い方がのびのび出来るかもしれないと思います。
- ・今の園は園庭が狭いのもっと広くなると良いなと思います。
- ・先生がコロコロ変わる。園庭が狭い。
- ・蚊が多い
- ・公立保育所に子どもを通わせていますが、施設の老朽化が顕著です。安心して通わせられて、時代の変化に合わせたものにしていただきたいなと思います。
- ・施設が古いこと、どうしても密になること。
- ・設備が古い
- ・保育園が古いので新しくしてほしい

### **行事**

- ・コロナで仕方がなけれど、行事が減っているのがつらい。
- ・コロナで無くなってしまった、全体で、みんなという行事の復活。昼寝布団を貸出してほしい。

### **習い事**

- ・習い事など選択制でとりいれてほしい
- ・仕事をしていると習い事の時間を取れないので、習い事(英語、体操)なども習える環境があるとよい。

### **実費負担**

- ・公立の保育所について。保育に使う物品を購入する雑費をちゃんと予算として付けてほしい。保護者会がお帳面や作品袋を購入しているのはよくわからない。
- ・実費について、HPなどで公開してほしい

### **保護者負担軽減**

- ・保護者の負担が多い。保育室の子供の棚のスペースが十分とれないので、毎日着替えやタオル、オムツ類を持参・補充しないといけない。その手間があるので、夫に送迎を頼めない。何日か分、まとめて入れられるくらいの棚の大きさにしてほしいし、それくらいの保育室の大きさを規定してほしい。土曜保育が短いので、本来のフルタイム勤務に戻れない。各保育園ごとに土曜日の保育運営が違うのをどうにかしてほしい。だまされた気分で、いまでも通っている保育園を好きになれない。保育をしてあげてるといふ、上から目線がイヤ。保育サービスっていうけど、無償ではない。安くない保育料を払っているのに、サービス契約なのではないかと思う。そもそも認可保育園の入園・転園はこちらの意思で決められないのに、嫌ならヨソにすればいいっていう姿勢もおかしい。京都市に決められただけで、一度も希望園に今の保育園の名前を書いた覚えはないんですけどね。
- ・オムツ持ち帰りがあるので、業者をいれて保育園内で処分できるようにしてほしい。
- ・布おむつから紙おむつのパンツに移行した時、便の処理はお尻ナップでしてほしい。温かいので

拭いてあげたいのはわかるが、拭いたおむつを毎回1枚だけ別で洗濯するのは負担。かと言って毎回布を捨てていたら、費用もお尻ナップよりかかるから負担です。

- ・布オムツ。みんな仕事して預けてるのに母親の負担が大きい。あと紙オムツの持ち帰りも不衛生。
- ・布団の持ち帰りがあり大変なので、布団の管理を保育園で行って欲しい。
- ・アナログなどところが多い。もっと保育士も保護者もラクできるところはラクしていいと思う。

### **その他**

- ・園長に、リーダーとしての資質がない。責任を取りたくないがために、何もやらなければ問題も起こらない、という考えが伝わってくるような部分があり、適切な人に任せて行って欲しい。
- ・子供と接することは結構な体力仕事でもあると思うので、男の先生もある程度はいた方がいいと思う。
- ・子どもたち一人ひとりの個性や思いを、もっと尊重してあげてほしい。特に、娘（年中）はお昼寝をしないので、強制的にお昼寝させられるのが負担で、登園にストレスを感じている。お昼寝しない、眠れない子どもにも保育士をつける等の対応ができないか。
- ・食材選び。無農薬のものにしてけると嬉しい。肉の日が多い。小麦粉製品が出ないと嬉しい。水はしっかりとした浄水を使っていれば嬉しい。保育士の方がマスクをして子供達と接していることに違和感を感じます。
- ・保育料をもっと下げてほしい。
- ・映画を見せる日があるので、無しにして欲しい。
- ・体制の問題かとは思いますが…平日に仕事が休みで預ける場合はスルーなのに、土曜日は仕事かどうか勤務時間など確認されること。何も聞かずに届出の時間で預かって欲しいなと思います。子どもがいない間の方が家事ははるかに捗るし、たまには1人の時間を確保する為に預けるのはいけないことなのではないでしょうか。
- ・仕事が休みの時は家庭保育をするように強く言われた
- ・担任と話す時間。最低限のマナー、教養を教えてほしい。
- ・読み書きなどを教えてあげてほしい。覚えることを楽しめる年代だと思う。
- ・私服をなくしてリースにしてほしいです！
- ・ご近所さんからのクレームを気にしないで過ごせるところに、引っ越せるものなら、引っ越してほしいです
- ・園で政治のチラシを配るのはやめてほしい。
- ・懸命に取り組んでくださり満足している。
- ・満足しています。

# 保育の在り方、安心して子育てができる京都市・社会の在り方についての意見

## 保育料

・個人的な事情ですが、現在通っている認可外保育園が令和4年3月で閉園するため、4月より認可保育園への入園を考えています。その結果、国基準の保育料へとなるならば概算で月5万円の負担増となります。1歳児クラスからの入園のため、無償化まで2年間120万円の負担増となります。いくら、世帯年収が高い基準といえども、このコスト増に耐えうる体力はありません。京都市外への引っ越しを検討中です。

・保育園に子どもを預ける家庭は、仕事や介護などの事情に関わらず、生活の全てを子どもの為に割けられない。それでも子どもは可愛く、大切に、その大切な子どもを安心して預けられる環境が絶対に必要になる。子どもが幼ければ幼い程その世話に手がかかる為、保育料は当然高くなる。しかし、例えば共働き家庭がひとりの乳児を標準時間で預けても、片親分の1ヶ月の収入がほぼほぼ保育料に消えると言うのは珍しくない話である。それが数年、幼児になれば金額は下がるがそれでも保育料は高い。保育園に通う子どもの人数が増えれば免除される事もあるが、その後も続く子育ての為に金額を考えると簡単には子どもを産み育てられない。職場への影響もある。そういった、広く長い目で見た「子育て環境」をふまえて、それでも保育料を上げるのであればそれ相応の説明責任を果たして欲しい。これは保育料増額だけではなく、他の施策に対しても同じである。

どの世代が対象であっても、市民に対して現状よりも悪化する施策について、当事者への丁寧な説明をせずに実施する事は絶対に避けて貰いたい。

・所得制限で3人目の保育料が満額支払いのうえに、児童手当も除外され、この先高校無償化も除外されるだろうから、トータルでは、ひとり当たり500万円以上自己負担と思うと虚しくなります。

・少子化が進む中、ネックになるのは子どもを育てる資金です。保育料の値下げを強く希望します。社会で子どもを育てる仕組みを作らないと日本は破綻します。

・今子供達が通ってる施設は、十分して頂いてると感じます。ただ、人手不足や設備投資するための費用不足などの話は分かるのですが、保育料を上げるという単純な施策は納得できません。他を抑えて回せるお金がないのかと思います。

・京都市の保育料、学童保育料の値上げはひどい。過去の工業事業の失敗のつけを福祉や子育てに回すのは間違っている。しかも新たな大型開発は続けていくというなんの反省もない行政運営は地方自治の役割を放棄している。

・財政難を理由に保育料の値上げはおかしいと思う。次世代育成は企業でいえば開発投資であり、それができない企業に未来はない。現状でも充分でないところをさらに改悪するのは避けて欲しい。他の収入源を考えるべきではないのか？

・同時入所していなくても、2人目、3人目の保育料を軽減して欲しい。年齢が上げれば、その分生活費、教育費の負担も増える。産みたたくても産めなくなる。”

・保育料がはねあがることには、反対

・保育料の見直し、改善。

・保育料の値上げは子供から直接徴収しないが、親からの徴収は間接的に子供から徴収しているに

他ならない。『未来の子供達に過度な負担をしいらない』とのことだが、現段階ですでに負担をしいている。財政破綻を防ぐためとの名目での実施だが、短期的には効果的でも長期的には逆効果である。今後京都市に住みたいと思う若者・子育て世代は少なくなり、少子高齢化がますます進むだろう。本末転倒である。

- ・保育料をあげるとなれば、安心して子育てができる京都市ではなくなる。負担をこちらに押し付けないでほしい。

- ・給料が高いから保育料が高いというのは平等なようで平等ではないと思います。その分、パートタイムの方々より時間が削られているのに、保育料だけは高く、納得がいかない。第2子が卒園し、第3子だけになったのに保育料が上がった。

- ・養育・教育に費用がかかりすぎる。二人はなんとか頑張ったが、3人目は経済的な理由で諦めました。

- ・0歳児から保育園は無料にして欲しい。収入がどうのとかじゃなく。でないと子育て出来ない。削るとは子どもに関わらないとこにして欲しい。

- ・安心して子育てが出来るとか言いながら、保育料あがる、保育士の給料減る、とか言われてて、この先本当に安心して子育てできるとは感じない。医療費も1500円はちょっと厳しい。

- ・金銭的の心配や負担は、親にとって心身ともに余裕やゆとりをなくす。子どもを育てるには親の余裕やゆとりは必須。金銭面は市や社会が負担してほしい。

- ・子育て世帯が、値上げされる保育料を負担することに反対します。財政難対策として、保育料値上げ以外に、本当に方法はないのでしょうか。

- ・働く必要がある家庭にとっては本当になくってはならない施設である。ただ、働けば働くほど保育料が負担になるのも事実。全ての年齢での無償化を希望する。年齢によって保育料徴収の有無が変わるのはおかしい。

- ・保育料、これ以上高額となるのは、かなりつらい。京都で子育てしたいと思ってもらえるような、他から転居したいと思ってもらえるような子育て支援をお願いしたい。

- ・保育料の値上げも困りますが、保育施設に関わるスタッフの方々の給与や処遇の改善が必要だと思います。命を預かる仕事に相応しい給与が支払われるべきだと思います。

- ・保育料の負担を減らして下さい！

- ・保育園に対してはいつも感謝している。いつも子どもをしっかり見ていてくれてありがたい。しかし、京都市の保育料に対しては本当に納得できないことばかり。先述のとおり、あまりに高すぎる。このままでは京都市の人口は減少する一方だ。「真の子育てNo.1」を名実ともに目指していただきたい。

- ・名ばかりの「待機児童0」よりも医療費補助の拡充・保育料の引き下げやそこで働く方たちへの手厚い補償に目を向けて欲しい。公園や児童館がたくさんあることはとても素晴らしいと思う。移動図書館や地域イベントなどが活性するともっと楽しいと思う。

### **保育士待遇**

- ・京都市は、もっと、保育士の配置基準を高くできるよう、保育環境にお金をかけてほしい

- ・保育士さんの給料をあげてほしい。続ける人もふえ、不満も減ると思う

- ・保育士さんはとても頑張っておられるのでどうか待遇を今以上に悪くしないで欲しい。

- ・保育士の給料を上げてほしい、ミーティングや研修できる時間を配慮してほしい、

- ・保育士の人数を増やすとともにその処遇を保育士の責任に相応しいものに改善して、子どもたちの安全を守り、子どもの権利・主体性が今以上に尊重される保育になってほしい。
- ・保育士の待遇改善がなければ、良い保育士が辞めてしまい、保育の質が落ちる。保育料が高くなれば、子どもを通わせられず、子育て世帯は京都市に住まなくなる。保育園生活は就学前の土台づくりにとっても重要。したがって、保育園への助成や保育士の待遇改善、保育料の見直しをして、将来的に京都市の子どもたちがキラキラ輝くようにしてほしい。
- ・保育士の配置基準が日本は低すぎる。また、一部屋の子ども的人数も多く、特に朝の合間で過ごしている時間は子どもたちでゴった返しており、先生を探すのも大変で、預けるときに声をかけるのも必死。
- ・共働きにとって保育園はとてめありがたいです。保育士さんへの給料ももっとあげてほしいです。子どもへの経済的負担が多いと更に出生率がさがる原因になるかと思ひますし、将来が心配で安心して京都で子育てができません。
- ・これ以上、保育士さんの負担がかからないように補助を十分にしてほしい。
- ・子育て環境日本一と言うなら、保護者への負担は見直してほしい。また、保育士の方々の給料をもっと上げてあげて、保育士になりたい、続けたいという人員をしっかりと確保してほしい。

### **保育の質**

- ・保育を充実することは、子どもの育成、女性の社会進出、少子化を止めることなどと密接に繋がっている。国や自治体は、目先の利益などに振り回されず、長い目で社会が子ども、保護者を支え、育てる、そういう政策に方向転換してほしい。
- ・親として一番は子どもたちが笑顔で過ごし成長できること。虐待や保育園での事故など子どもたちの悲しいニュースを見ます。そうなってしまった原因はその時だけではなく積み重なったものなど様々あるのかもしれませんがどれも無責任な言葉ややりとりが多い印象です。今通っている保育園がそうであるとは思ひていませんしいつも先生方は頑張つて下さつていてと思ひてはいますが親の立場からするといつあの悲しいニュースのような状況になるかもしれないという心配は拭えませんが。子どもを実際預けていて感じたことは保育士不足であるということです。人員配置的には基準を満たしているかもしれませんがその基準値が低いと感じます。また京都市は現在財政破綻を抱えている最中ですが保育士の減給や保育料の増額などこれでは安心して子育てができる京都市とは言えないと思ひます。市民に負担を強いる前にこれらを提案された方たちの自身の立場はそのままなのでしょうか？今一度考えて頂きたいです。
- ・今の京都市では、安心して子育てできない。これ以上、保育士さんのお給料が減ることで保育の質が下がつたり、保育料が上がるようなことがあれば、別の自治体へ転出する。
- ・子供の安全と教育を考えると、現在の保育士と子供の比率が最も望ましいと思ひます。
- ・保育料があがるのは、保育の質を上げるためであつてほしい。財源を子供に関するものから減らすのは、京都市の未来がないと思ひます。

### **安心して子育てできる場**

- ・ホテルばかり作らずに子供が遊べる場所など作つて欲しい
- ・コンビニみたいどこでも安心して子どもを預けられる場所が増えてほしい。
- ・どんな家庭環境の子どもでも、安心して愛着のあるなかでのびのび育つていけるための施策は、行政が責任をもつて実行していくべきだと考える。

・安心して子どもが産め、子どもを育てることができる環境や社会になることを望みます。

財政赤字をうたうなら、まず、門川さんが責任を取って辞職すべき。

・子どもたちみんなが安心して毎日を送ることができるように、できるところから一つずつ行動していきたいと思います。

・大学生の街の割に大学生のマナーが最悪。小さい子たちが危険。観光客や寺社仏閣ばかり心配していて、京都市でこのまま子育てしていくのは、財政含めて不安でしかなく、他の市に引っ越すことも視野に入れている。大阪に住んでいたけど、比べたら京都市は最悪。

・もっと、環境や、基準をしっかりと作って欲しい。今までゆとりのある保育や福祉を財政難だからといって急にこんなふうに変えたり保育士の人数を、とか、違うやり方で考えて欲しいです。

・子どもたちは地域で育っていくものだと思う。家族だけでなく、たくさんのひとに関わってもらうことで豊かな心になると思う。子どもたちは未来の社会を担う存在。その子どもたちへの投資を惜しまず、子どもたちに優しい社会にしてほしい。

・子どもにお金をかけられない自治体に未来はない。寺より保育所の方が大切。大学より保育所の方が大切。

・子どもの事を一番に考えた保育、社会が望ましいと思います。生まれてきたからには、全ての子どもたちに幸せになって欲しいと願います。

・子ども時代というのは人間としての土台を形成する大事な時期だと思います。特に保育園は、子どもにとって初めての社会生活でそこで過ごす経験が人としての成長に大きく関わると思うので、保育園や先生方がひとりひとりの子どもたちとゆとりをもった関わりが大事だと思います。

そんな保育ができるためには制度としての保障が必要だと思います。財政難と言われる京都市ですが、将来の納税者が住み続けたいと思える街であるために、保育を手厚くすることは必要な投資だと思います。

・保育園が少ないと、各園とも本来の定員を超過して受け入れないといけなくて、保育士さんからすれば、かなり負担が大きく迷惑な話。だから「保育をしてあげてる」という横柄な態度になるんだと思う。保育園の数は各地域に多くある方がいいし、民間移管の時に「民間企業の競争原理を！」というなら、数が多くないと話にならない。数が少なければ、それこそ寡占状態で、料金値上げ・サービスの低下を招くし、それでも保育をお願いしないといけない保護者は保育園の言いなりにするしかなくなる。人数ぴったりかやや少なめという計画主義は社会主義的な発想では？

地域で子育て&高齢者は住み慣れた町で最後までという2大福祉を実現するには、子供と高齢者どちらが優遇されているか？という対立ではいけない。地域の保育園に通う→近所の人達が子供の声や送迎の自転車を多目にみているという優しさに触れる。保育園周囲の道の植栽など、地域の高齢者と協力して行う活動もある。そんな地域で育てば、高齢者福祉に予算が使われたり、ボランティア活動を求められても恩返しとして快く受け入れられる。京都市はよく「地域力」を押し付けてくるけど、阻害しているのは京都市の保育の乏しさです。自転車には危ない歩道、狭い園庭、近所からのクレームで外遊びが禁止されてしまう現況では、高齢者に感謝・恩返しなんてしたくない。

・ご近所に住んでる人の気持ちも、もちろんわかりますが、クレームを気にしながらの保育はほんとうに辛い。

・財政は厳しいかもしれないが、子育てに関しては、安心できるようにしてほしい

- ・ベビーカーで外出する時に、段差が多いので、スロープを増やして欲しいです。
- ・職場に育児や病児で欠勤、早退する際に理解のない人が一定数いて、仕事と家庭を両立することを難しく感じるがありました。定時の17時で帰らないと保育園の迎えが間に合わないことや、日曜日、祝日の保育園が休みの日に出勤できないことによるシフト調整が上手く行かず、パートになるように示唆されてハラスメントのように責められたことがあります。それがとても辛く、子育てするには厳しい社会だと感じました。
- ・保育園が地域から減るって行くことは、少子化とはいえ良いこととは思えない
- ・子育て世代が京都市に住み続けられるような子育てに優しい環境を作してほしい。これ以上、苦しめないで。
- ・とにかく、子育て世代の負担になる改革はやめてほしい。若い世代の定住者が少なく、それが財政難に繋がっている一因としているのなら、子育て世代に優しい行政改革をしてほしい。

### **子育て支援**

- ・子育て世帯に対して、もう少し支援をしてください。税金も保育料も家賃も高い京都市で生活するのはしんどいです。でも私の実家も夫の実家も京都市で、介護等のことを考えると市外へ転出するのもどうかと悩みます。
- ・京都市の子供の診療代、小学生以下は無料になりませんか。他府県、他市は無料という話を聞きます。同じ国民保険なのに、不公平やと感じます。門川市長は観光を大事にされること理解もできますが、高所得者の別荘税、宿泊税などの増税を視野に入れ、一日乗車券を始めとする、地下鉄やバス代の値上げをし、文化財への財源をクラウドファンディングで確保するなど、観光方面の財源を改革することを推進すべきです。また市長の退職金の返還、無償化を望みます。そうでなければ、子育て世帯は負担ばかりを感じ、京都市の市民税を負担してくれる世帯は、継続せずますます転出していくと思います。
- ・京都市の財政支出を子育てに関することにより多く当ててください。よろしくお願い致します。
- ・4月入園でないと厳しいという現実と仕事の都合もあり、先輩方がたたかって確立された育休制度を活用しきれなかったこと残念に思っています。費用を心配することなく、そして望んだ時から入園できるシステムになればと思っています。
- ・この間の京都市の対応は、子育て世帯を追い詰めるものであるように感じる。民営化やコロナ禍での様々な保育政策の改革など、子どもも保護者もコロナで本当に大変な思いをしている中で、次々と出されてくると子どもを産んだ私たちが悪いのかと思うような気持ちになる。また、それに対して、保護者同士や保育園との関係が分断され、周囲で傷ついている保護者をみても心が痛い。子どもが大切にされている、子育てすることが歓迎されているという実感を持てるような社会であってほしいと心から願う。
- ・子どもにはお金がかかります。その子育て世帯からまず金をとるのではなく、神社仏閣、富裕層の別荘がわりのマンションなどから金をとってください。
- ・子どもの成長に公金を出し惜しみする社会に税金を納めたくない❗税金の使い道を選択して納められるようにしてほしい❗
- ・子どもを守る社会や京都市であって欲しいです。まだまだ改善できるところはたくさんあると思います。
- ・子供の人生に大きく関わる子育て関連予算の削減には反対します。特に、保育園予算の削減は安



全な保育にかかるリソースを削るため、命に関わるものです。財政が厳しいというのは理解できますが、他の予算から削減した努力が見えないうちに重要な予算を削減する案が出されるのは納得できかねます。

- ・保育や子育てに社会投資を行わず、少子化をどう解決するというのか。子育てと経済活動（＝税負担能力）を両立できる社会を作らねば少子化は解決しないと考えます。

- ・乳幼児期にどれだけ多く投資をするかで、将来有益な人材が育ち、結果、財政に還ってくるということが研究結果としても出てきているのに、財政を理由に乳幼児期の環境を切り崩そうとする市政に不信感を抱きます。市の人には今一度教育に対して勉強してもらい、お金の使い方を考え直して欲しいと思います

- ・社会全体で子育てをとという流れになればと思います。子育て、保育の予算から削るのではなく、未来ある子供にこそお金を掛けて、育てていてもらいたい

- ・リニアカーなどよりも今、住んでいる市民やこれから成長していく子どものことを考えて欲しい

### **その他意見**

- ・まずは、市長がもっと市民の立場にたち子育て世帯の気持ちになり考えること。無駄な税金を使い、無駄な工事ばかりしている。全く市民目線でない。

- ・子育て日本一、なんてうたっているけれども口先ばかりだな、と思っている。京都市の財政赤字でいっの一番に保育や福祉関係を削ろうとしているのを市民は見ていますよ。そしてガッカリしています！！保育園や先生方は子どもたちや親によりそってくれてるのに、京都市がそんな姿勢では安心して暮らすことができない。明石市を見習ってほしい。

- ・市の広報などで京都市の財政の厳しさを目の当たりにしていますが、とりあえず削れるところから削ろうとする姿勢に疑問をもちます。未来ある子どもたちの成長に直結するような予算を削るのでなく、どうすれば社会全体で子どもを幸せにできるのかを考えてほしい。市民はそれぞれの立場や活動を通して意見を出しているのも、もっと真剣に向き合ってほしい。

- ・財政危機により子育て環境のみならず社会福祉行政サービス全てが悪化していく事は不可避だと思うので、将来的に他自治体への転居を考えている。愛着のある京都市に留まりたい気持ちは山々なのだが…

- ・地価も高く保育料も保険料も割高で滋賀県に人が流れるのが子育てしてみてもよく分かりました。高齢者には優しい街だと思います。

- ・子育て世代の負担が増えたら、いくら財政難でも、引っ越しを考える人は増えると思う。

- ・子育ての話はそれだけに閉じているのではなく、親の働き方や収入、医療、教育、経済、環境など幅広くつながっているという理解で取り組んでいただきたいと思います。育った子がどうなるのか、彼らが生きていく社会が持続可能なのか、希望が持てるのか、子育て部門だけでは対応できないはず。社会のあり方の問題として、分野横断的に取り組んでいただきたいです。

- ・なぜに、財政破綻をこれからの世の中を背負っていくものに負担をかけるのかがわからない。

- ・門川さんは、何に市民のことを考えていないので、早く変わってほしい。

- ・今回の行財政「改革」については、不安が大きい。今の財政状況で北陸新幹線など今進めることが重要なのか。

- ・京都は活用していない土地を活用して地方の企業をもっと誘致すべきと思いました

- ・自治体が保護者の意見を聞く機会がほとんどないのではないかな。また機会があったとしても保護

者の声を政策に反映する姿勢がほとんど見られないのはとても残念だ。行財政改革へのパブコメでも保育や子育てについてたくさんの意見が寄せられたにもかかわらず計画案にまったく反映されなかった。こうした住民軽視の行政の姿勢はまったく支持できない。

- ・大人が考えた理屈だけではなく、本当の意味で子どもを中核に据えた検討が必要なのではないかと思う。

- ・京都市は恵まれているほうだと、大都市の親戚の育児状況を知っている身としては思います。説明責任はあると思いますが、行政の近年の保育に対する考え方（公立縮小など）には概ね納得しております。

- ・京都市が何に視点を置いて、市政運営をしているのかがわかりにくい。地下鉄に関しても、民間化など、大胆に改革していくべき。

- ・小学校以上は個より集団を重視する傾向がある印象があり、それぞれの発達や個性に合わせた支援をしてくれる保育所から移った時に不安がある。保育所を変えるのではなく、小学校の導入を半ステップ下げる形で連携してほしい。小学校以上でも、個に向き合える教育環境を整えてほしい。

- ・観光客という余所者ばかりに目を向けず、京都市の子供のことを考えた政治を期待する。某実業家が多額のふるさと納税候補を募集しているのに、首長は頭を下げてお願いせずに財政難とよく言えたものだ。